



平成17年度 上水道決算

損益収支は2年連続黒字に

市では年2回、上水道事業の経営状況をお知らせしています。今回は平成17年度の決算状況です。

事業の概要
平成17年度の配水量(つぐった水の量)は258万トンド、前年度よりも1.5%減少し、給水量(料金に結びついた水の量)は、約210万トンド、前年度よりも約0.7%増加しました。その結果、有収率(※1)は1.8ポイント上昇し81.5%でした。今後も老朽管の更新や漏水調査を進め、有収率の向上に努めていきます。また、平成18年豪雪の積雪や低温によって、各家庭の水道施設で漏水が数多く発生したことに伴い、市民の負

担を軽減するため今冬に限り、漏水減免措置の対象範囲を拡大しました。
損益収支・資本的収支と今後の方針
上水道事業会計は、損益収支と資本的収支に分かれています。損益収支は維持管理にかかわる単年度の収入と支出、資本的収支は建設関係の投資等の収支です。17年度の損益収支は、給水収益が増加し、原水及び浄水費(主に水源等施設の維持管理に係る費用)と借入金(※2)の減少により、4294万円の黒字となり

ました。
資本的収支における配水管などの整備は、配水管の新規布設および布設替のほか、太田北部補完水源電気計装施設整備工事、水圧の低い地区を解消するための加圧ポンプ設備工事等を実施しました。
今後は、飯山市全体の水源水量の不足に対応するため、既存施設の有効活用を継続していきます。また、水道施設や配水管の更新に備えるため、17年度に発生した黒字は、積立金に積み立てていきます。

●損益収支

(収入)		消費税抜き、1万円未満端数処理		
科目	16年度	17年度	対前年度比	構成比率
給水収益	4億3,870万	4億4,606万	101.68%	91.1%
受託工事収益	6,137万	1,864万	30.37%	3.8%
その他営業収益	775万	543万	70.06%	1.1%
一般会計繰入金	3,286万	1,324万	40.29%	2.7%
受取利息及び配当金	2万	4万	200.00%	0.1%
雑収益	683万	596万	87.26%	1.2%
合計(A)	5億4,753万	4億8,937万	89.38%	100.0%

(支出)		消費税抜き、1万円未満端数処理		
科目	16年度	17年度	計画対比	構成比率
原水及び浄水費	3,979万	2,759万	69.34%	6.2%
配水及び給水費	2,660万	3,405万	128.01%	7.6%
受託工事費	5,422万	1,634万	30.14%	3.7%
総係費	3,252万	3,410万	104.86%	7.6%
減価償却	2億0,594万	2億0,677万	100.40%	46.3%
資産減価償却費	707万	551万	77.93%	1.2%
その他営業費用	34万	46万	135.29%	0.1%
支払利息	1億2,777万	1億1,990万	93.84%	26.9%
雑支出その他	54万	171万	316.67%	0.4%
合計(B)	4億9,479万	4億4,643万	90.23%	100.0%

(差引収支)

(A)-(B)	16年度	5,274万	17年度	4,294万
---------	------	--------	------	--------

●資本的収支		消費税込み、1万円未満端数処理		
収入	他会計繰入金	負担金	企業債	合計
	2,143万	1,684万	700万	4,527万
支出	建設改良費	企業債償還金	合計	
	5,692万	1億8,354万	2億4,046万	

●長期借入金の状況		1万円未満端数処理		
前年度末未償還金	17年度の状況		17年度末未償還金	未償還金の対前年比
	償還額	借入金		
37億3,067万	1億8,354万	700万	35億5,413万	95.3%

●主要分析表

区分	16年度	17年度	対前年度比
有収率(※1)	79.7%	81.5%	102.3%
給水原価(※2)	210.8	204.5	97.0%
1人1日当たり平均給水量	302ℓ	307ℓ	101.7%

※1 有収率：漏水と消火栓の水を除き、収入に結びついた水の割合
※2 給水原価：料金に結びついた水1m³をつくるのにかかる費用

平成17年度 普通会計決算

主な使いみち

決算額の多い事業と特徴的な事業 (1万円未満 四捨五入)

消防費

●消防団の運営に(7,489万) ●防災のための訓練、災害対策に(316万)

衛生費

●がん検診に(1,329万) ●生ごみ出しません宣言に基づく処理機購入など生ごみ自家処理の推進、講習会開催などごみ減量・再資源化推進のために(380万)

教育費

●飯山市ふるさと館の建設に(2億6,259万) ●飯山雪国大学セミナー開催に(167万) ●図書館の図書等資料の購入などに(513万)

農林水産業費

●豪雪による農作業の遅延防止のための残雪対策に(192万) ●中山間地域における耕作放棄等の発生防止と、多面的機能確保のための交付金による支援に(7,416万) ●協働のむらづくりによる水路・農道の補修に(450万)

商工費

●空き店舗利用者への家賃補助(38万) ●市民リフト券発行等、市内観光地の活性化に(941万) ●インストラクターの派遣等グリーンツーリズムの推進に(476万)

総務費

●乗客の減少による民間バス会社への赤字補填に(3,656万) ●民間バス会社が運行しない地域のバス運行に(2,140万) ●2区の公会堂建て替えへの補助(1,800万) ●活性化センターとして使用している秋津農業団地センター改築に伴う飯山市負担金(2,000万) ●森林セラピーの生理実験実施、セラピー基地全国サミット開催、森林セラピー・温泉療法を取り入れた新たな旅のプログラム構築に(1,905万)

民生費

●心身障害者・高齢者に対する就労・技能習得支援、日常生活への支援に(2,015万) ●低所得者が介護保険居宅サービスを利用しやすくするための助成に(949万) ●転倒予防、認知症・介護予防、男性のひとり暮らし高齢者等の料理等自立支援のための教室開催に(1,883万) ●生活習慣病予防、介護予防の推進のための教室開催等に(1,157万) ●子育て支援センターの運営、育児不安等の相談・指導のために(696万) ●生活弱者世帯の雪下ろし作業に(4,055万)

土木費

●市道の維持・補修に(3,000万) ●流雪溝の整備に(4,866万) ●協働のみちづくり事業に(2,145万) ●街灯・道路反射鏡の設置修理など道路の安全のために(972万) ●道路等除排雪に(6億5,287万) ●フラワーロードの整備に(359万) ●新幹線飯山駅周辺の区画整理に(4,427万) ●市営住宅本町西団地の建設に(2億9,010万) ●若者世帯定住のための中古住宅購入に(1,012万)



総務費 森林セラピー実証実験
森の癒し効果を科学的に検証



教育費 飯山市ふるさと館建設

飯山の宝物を知るための展示、また土器や勾玉(まがたま)などを作る体験教室も



民生費 健康増進プログラム

70歳以上の方を含む、ほとんどの方の筋力が向上。自宅トレーニングの継続がポイント



土木費 市営住宅 本町西団地建設

新町団地を建て替え本町に市営住宅を建設



土木費 除排雪

大雪に見舞われた17年度。残雪処理にも費用がかかった